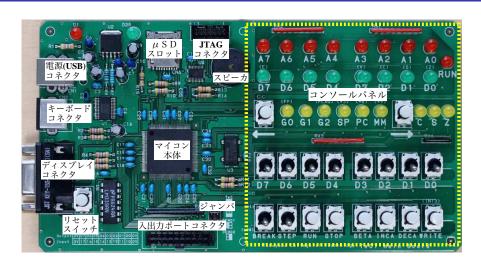
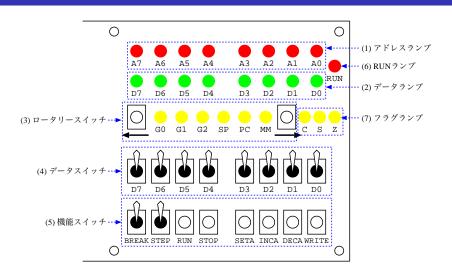
基礎コンピュータ工学 第4章 マイコンの操作

各部の名称



● ビデオ (各部の名称, 前半)

コンソールパネル



● ビデオ (各部の名称,後半)

TeC 内部の記憶装置

			\neg	
フラグ		計算結果を表す目印	8bit	•
てヅ	G0,G1,G2	計算対象となるデータや 計算結果を一時的に置く場所	00	4
ブスタ	SP	G0,G1,G2同様な用途に使える。 特別な使い方もできる。	01	
	PC	実行するプログラムのアドレス	Z 03	
主記憶		プログラムや変数を置く場所	04	
		€—_8bit	1	
		G0		
		G1		
		G2		
	CZS	SP	FF	
		PC	主記憶	
	フラグ	レジスタ	(メモリ)	

● ビデオ (TeC 内部の記憶装置)

記憶装置の内容を表示/書込み

- ビデオ(表示から書込みまで)
- フラグ
- レジスタ
- 主記憶 (メモリ)

プログラムの実行

- 主記憶にプログラムを書き込む。
- PC (プログラムカウンタ)
- STEP, BREAK スイッチ
- RESET, RUN スイッチ

練習問題1

次のプログラムを実行しなさい. (プログラムは16進数で書く)

1. 主記憶にプログラムを書き込む. 番地 データ コメント

H 20	/	
00	13	
01	0A	
02	17	
03	0F	
04	1B	
05	A0	
06	1F	
07	F0	
80	FF	

- 2.00番地から実行する.
- 3. 実行後の各レジスタの値は?
- 4. STEP 実行を用いて各命令の意味を推定する. →コメントに書く

練習問題2(前半)

どのような命令が含まれているか推定しなさい.

- プログラム I 番地 データ コメント 00 13 01 01 02 33 03 01 04 FF
- 2. プログラム 2
 番地 データ コメント
 00 13
 01 01
 02 33
 03 01
 04 A0
 05 02

練習問題2(後半)

3. プログラム3
番地 データ コメント
00 13
01 01
02 20 メモリの10₁₆番地に何か起こる
03 10
04 FF

期末試験について

1. 試験範囲

- 中間試験の範囲に加えて第4章
- 第4章の内容は、操作方法、プログラムの実行と実行結果の確認
- 2. 持ち込み物品 TeC 本体, ケース, 電源ケーブル
- 3. 試験の準備
 - 中間試験の範囲を良く復習する.
 - 教科書の第4章を良く読む.
 - ビデオ(教科書 21ページの QR コード)を良く見る。
 - 実際に TeC で試してみる.
- 4. 参考(過去問)

練習問題として活用してください.

https://github.com/tctsigemura/Exam/tree/master/FCE